



令和7年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月16日～11月25日

～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
京都支部



修了者へ贈る言葉

第13期介護労働講習修了生の皆さん、半年間にわたる介護労働講習を無事修了されたことをお慶び申し上げます。

ただし、介護労働講習は職業講習のため、皆さんが就職されて本当の意味で修了となります。まだ就職活動中の方もいらっしゃいますが、半年間の講習で身につけた知識・情報・スキルを強みとして、就職の早期確定をお願いします。

多くの方は、新たな職場で介護に関わる業務に取り組まれているのではないのでしょうか？半年間の講習で身につけた知識・情報・スキルは活用されていますか？そして、それらを活用しながら介護事業の実務経験という新たな強みを、日々身につけられているのだろうと考えております。今後、日本では介護事業の担い手がますます必要とされるようになります。皆さんには、少しずつ職場での業務上の存在感を高めていただき、将来の介護事業を中軸で支える人材になっていただくことを期待しております。

そして、皆さんには同期生が33名います。これから、悩んだり、困ったり、先が見えなくなることがあると思います。そういう時、相談できる同期の仲間が頼りになるはずですよ。一緒に壁を乗り越えて成長してください。同様に、介護労働安定センター京都支部も可能なサポートは行いますのでご相談ください。皆さんの今後の活躍を楽しみにしております。

京都支部長 緒方 隆治

講習風景



開講式



食事介助



移動介助



講習風景



口腔ケア



経管栄養（胃瘻）



喀痰吸引



講習風景



移乗介助



レクリエーション演習



介護計画書作成



講習風景



修了生講話



合同就職説明会



修了式





講習を終えて

今年も多くの受講者が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。修了者の感想をご紹介します。



半年間の中で集中して授業を受けたので、本当に介護現場で実践出来るか不安な時や迷った時はテキスト・プリントなどを見直して勉強しながら仕事を続けていこうと思います。



6ヶ月間、大変有意義な時間でした。

色々な偶然が重なり講習を受講することになりましたが、自分の仕事の幅が広がったこと、前から興味があった分野で働く機会を与えていただいたことにとても感謝しています。

現場実習後のカリキュラムは、実践につながるコミュニケーション方法や移乗・移動介助の支援方法などの講習内容が学べてよかったです。



40年ぶりの学生生活を過ごさせて頂きありがとうございます。充実した講習内容もとてもよかったです。



就職先を訪ねて

中村 胡桃さん

令和5年度 修了者



Q 介護労働講習で学んだことは？

A 基礎的な介護知識・技術のほか、社会の変化とそれに伴う制度の変遷について学ぶことができました。特に「認知症の理解」の単元では原因や経過、中核症状とそこから起こりうる問題について時間をかけて学び、私が10年以上前にヘルパー2級を取得した時よりもより深く理解することができました。そうして学んだことは、日々現場で働く中で自分の土台となっています。

Q 実際に介護のお仕事に就かれた感想は？

A 介護の仕事はご利用者を一方的に支える仕事だと思っていました。しかし、一緒に家事をこなしたり、一息ついて思い出話を伺ったり、ダジャレを言って笑かしあったり、同じ時間を共有する中で、私が受け取るものも多くあると感じています。

Q 講習内容などについてのご感想

A 単元ごとに試験があり、一定の得点をとらなくてはいけないので毎回緊張感がありましたが、授業をしっかり受けることで危なげなく合格することができていました。座学のほか実習やグループワークを通して一緒に受講している仲間と交流を深めることができたのがよい思い出となりました。

Q これから受講される方へメッセージをお願いします。

A 私は当初、介護業界の中でも障害分野の訪問介護事業所に勤めようと考えていました。しかし、講習を通して様々な介護現場について知ることによって修了後は高齢者施設である現在の職場に働くことに決めました。介護労働講習は介護について学ぶだけでなく、自分がどんな人間でどんな仕事がしたいか、自分のことを振り返るよい機会でもあると思います。



事業主様から一言



柘野福祉会 グループホーム四条大宮
管理者 細井 妙子様

Q 普段のお仕事ぶりはいかがでしょう？

A 中村さんは「目の前のご利用者が今どう思っておられるか」を大切にご利用者一人ひとりに真摯に向き合っています。その気持ちや聴く姿勢が相手にも伝わるため、入職してすぐにご利用者に受け入れられ、とても頼もしく感じました。

「快適に過ごしてほしい」「楽しんでもらいたい」という思いを自分の得意分野を活かして実践してくれており、広報誌、お誕生日カード、ものづくり、お菓子作りなどを通じてご利用者に日々喜びを与えています。

Q これから受講される方へメッセージをお願いいたします。

A 祖母のデイサービスでの写真をきっかけに介護の仕事に興味を持ちました。「祖母にはできなかったけど何かできたら」「支援する人の役に立てたら」と講習受講を決めましたが、飽き性の私が続けられるか不安も大きかったのを覚えています。早22年、介護の仕事はとても奥が深く、まだまだ退屈しそうにありません。

この仕事は生活を支える仕事、仕事を通じて様々な方の人生の物語に触れることができます。出会って繋がり、共にすごすことで、十人十色の人生から多くを学び、支え、支えられる中で自分自身の成長を実感することができます。

介護労働講習はその第一歩、介護職員に必要な基礎的な知識から、実務に役立つ技術を学ぶことができます。何より、たくさんの仲間に出会うことができます。介護の仕事をする中で、コミュニケーションはとても重要です。ぜひ、講習を通じてできた新しい仲間とお互いに励ましあいながら学びを深めてください。そして、自分自身が“昨日よりも成長することを楽しむこと”を忘れないでください。私も皆さまに出会えるのを楽しみにしています。



